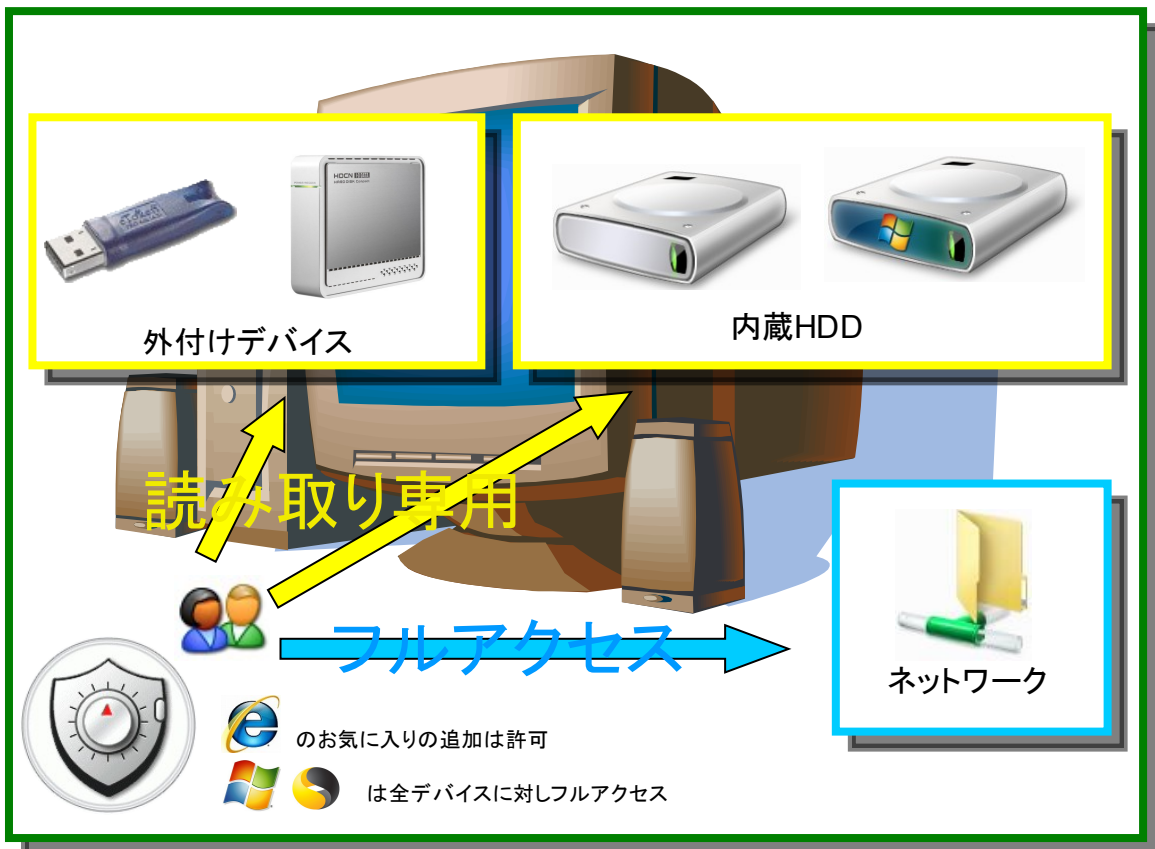


## デスクトップ、マイドキュメントなどのローカルディスクを書き込み禁止に

Universal Shieldを用い、デスクトップ、マイドキュメントなどのローカルディスクにデータを保存させない環境の構築方法を紹介します。

### 構築する環境

- ・ ユーザーデータをデスクトップ、マイドキュメントなどのローカルハードディスクに保存させない。
- ・ アンチウイルスソフトは常時、ドライブ全体を常駐監視。
- ・ お気に入りの追加のみ許可（履歴、Cookieの利用は禁止）。
- ・ 外付けデバイスは、読み取り専用とする。
- ・ Universal Shieldの存在をユーザーから隠す。



## 環境シナリオ

- ・ ユーザーが利用する PC は、ActiveDirectory に参加した WindowsXP ProSP2。
- ・ ユーザーは、DomainUsers に所属する専用のドメインアカウントにてログオンする。
- ・ ローカルハードディスクに用意されたパーティションは C ドライブのみ。
- ・ アンチウイルスソフトが常駐監視
- ・ グループポリシーにて、マイドキュメントのパス変更および自動実行機能は禁止

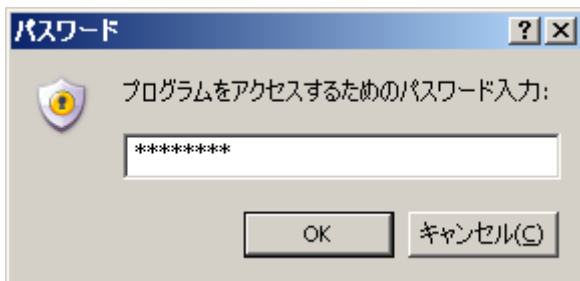
## 構築手順

### Universal Shield のインストール&設定

- 1、 管理者権限を持つユーザーにてログオン後、パラメータ `-var:"InstallIcons=0"` を付きで Universal Shield のインストーラーを実行し、C:\¥US42 フォルダへインストールを行ないます。

```
ushield42_jpn.exe -var:"InstallIcons=0"
```

- 2、 システム再起動後、C:\¥US42¥USPro.exe を実行し、Universal Shield を起動します。なお、起動に際し、インストール時に設定した起動用パスワードを求められます。



- 3、 メニューのファイル>オブジェクトのプロテクト>マスクを選択し、次のプロテクト設定をそれぞれ登録します。

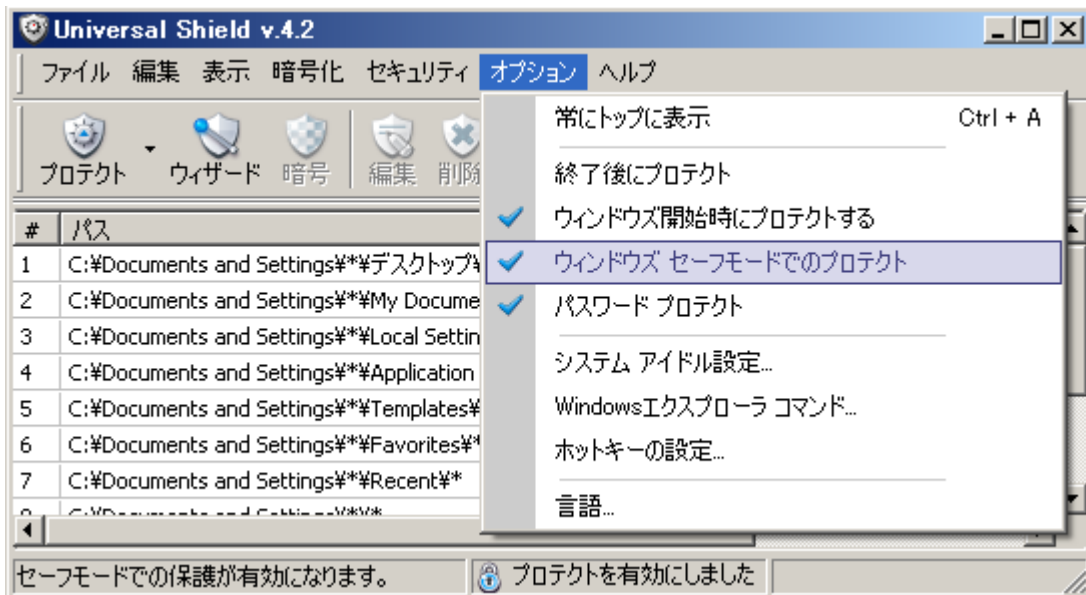


パス	読み込み	書き込み	削除	可視状態
C:\Documents and Settings\*\Local Settings\*	○	○	○	○
C:\Documents and Settings\*\Application Data\*	○	○	○	○
C:\Documents and Settings\*\Templates\*	○	○	○	○
C:\Documents and Settings\*\デスクトップ\*	○	×	×	○
C:\Documents and Settings\*\My Documents\*	○	×	×	○
C:\Documents and Settings\*\Favorites\*	×	×	×	×
C:\Documents and Settings\*\Favorites\*.url	○	○	○	○
C:\Documents and Settings\*\Recent\*	×	×	×	×
C:\Documents and Settings\*\Cookies\*	×	×	×	×
C:\Documents and Settings\*\NetHood\*	○	×	×	○
C:\Documents and Settings\*\PrintHood\*	○	×	×	○
C:\Documents and Settings\*\SendTo\*	○	×	×	○
C:\Documents and Settings\*\スタートメニュー\*	○	×	×	○
C:\Documents and Settings\*\Local Settings\History\*	×	×	×	×
C:\Documents and Settings\*\*	○	×	×	○
D:\*	○	×	×	○
E:\*	○	×	×	○
F:\*	○	×	×	○
G:\*	○	×	×	○
H:\*	○	×	×	○

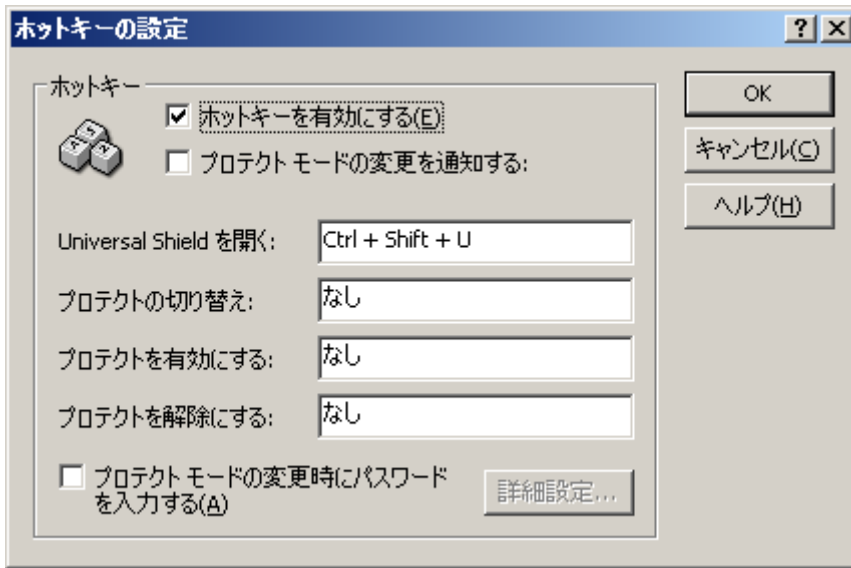
I: ¥*	○	×	×	○
J: ¥*	○	×	×	○
K: ¥*	○	×	×	○
L: ¥*	○	×	×	○
M: ¥*	○	×	×	○
N: ¥*	○	×	×	○
O: ¥*	○	×	×	○
P: ¥*	○	×	×	○
Q: ¥*	○	×	×	○
R: ¥*	○	×	×	○
S: ¥*	○	×	×	○
T: ¥*	○	×	×	○
U: ¥*	○	×	×	○
V: ¥*	○	×	×	○
W: ¥*	○	×	×	○
X: ¥*	○	×	×	○
Y: ¥*	○	×	×	○
Z: ¥*	○	×	×	○

※環境や運用方針により、登録リストの内容は異なります。

- 4、メニューのオプション>ウィンドウズ セーフモードでのプロテクトを選択し、オプションを有効化します。（チェックマークがつく）



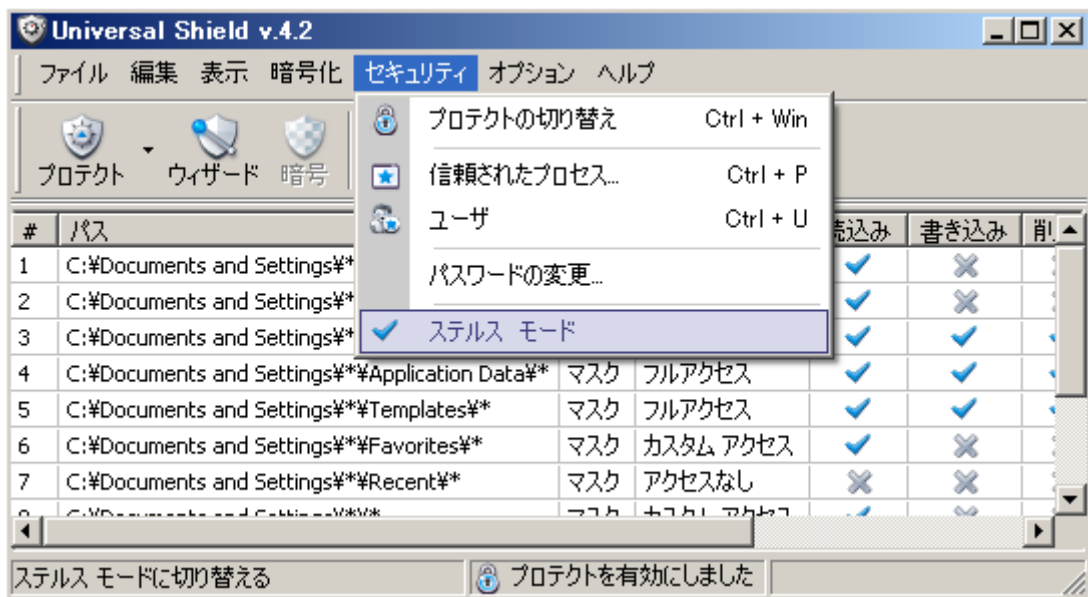
- 5、メニューのオプション>ホットキーの設定を選択し、ホットキーの有効化、並びに Universal Shield 起動用のホットキーを設定します。



- 6、メニューのセキュリティ>信頼されたプロセスを選択し、リストの追加ボタンから、アンチウイルスソフトのプロセスを除外登録します。

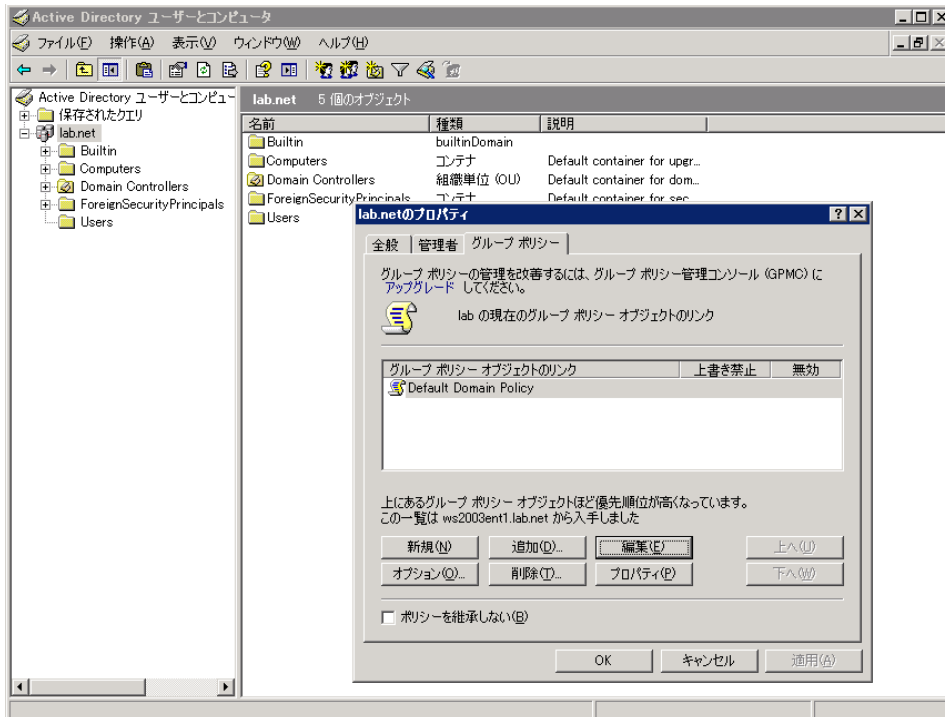


- 7、メニューのセキュリティ>ステルスモードを選択し、オプションを有効化します。（チェックマークがつく）

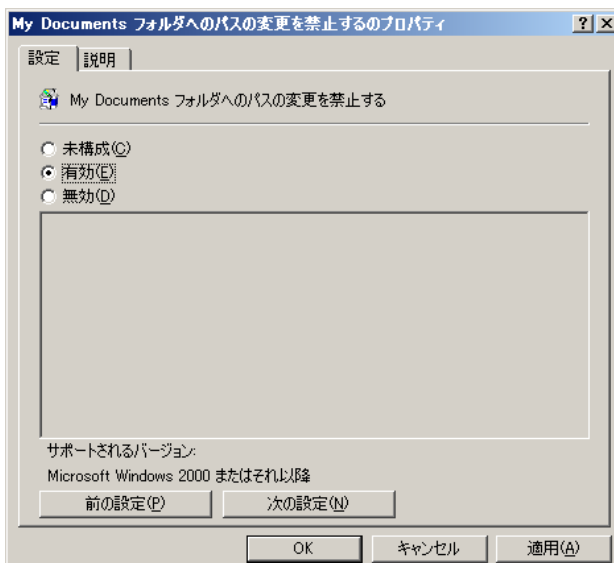


## グループポリシーの設定

- 1、ドメインコントローラのサーバーへ管理者権限でログオンし、スタートメニューから「ActiveDirectory ユーザーとコンピュータ」を選択します。
- 2、ドメイン名を右クリック>プロパティ>グループポリシータブからdefault Domain Policyを選択し、編集ボタンをクリックします。



- 3、ユーザーの構成>管理用テンプレート>デスクトップ>My Documents フォルダへのパスの変更を禁止するを選択し有効化します。



- 4、 コンピュータの構成>管理用テンプレート>システム>自動再生機能をオフにする を選択し、有効、すべてのドライブ を選択します。

